

—静岡と富士山の絵画—

皇居三の丸尚蔵館展
皇室の名宝
—静岡ゆかりの品々とともに
2025.9.27[土]—11.3[月・祝]

皇居三の丸尚蔵館は、皇室に伝来する美術工芸品を収蔵する施設です。静岡ゆかりの収蔵品を中心とした48件を、当地にて初めて紹介する展覧会を開催します。

同館の収蔵品には、明治時代以降の慶事の献上品も多く見られます。中でも富士山は日本の美を象徴する吉祥画題として様々な作家が描きました。

《晴天鶴》は、大正5年(1916)の立太子礼の御題にちなみ、山元春挙(1872-1933)が御用命を受け制作しました。富士は山の巔まで精緻に描かれ、山を愛し写実感を大事にした春挙らしい表現が見られ



いずれも皇居三の丸尚蔵館収蔵

山元春挙《晴天鶴》 大正5年(1916) 絹本着色 3幅

ます。松が枝を伸ばし鶴が飛翔する描写は、蓬萊山のイメージでもあり、吉祥に溢れています。

横山大観(1868-1958)の《霊峰》は、画帖《景雲餘彩》の冒頭を飾った一枚です。大観は、墨をぼかした靄と金色の空に包まれた富士山を描き、聖なる姿を幻想的に浮かび上がらせました。この画帖は、大正11年(1922)皇太子が日本美術院展へ行啓されたことへの御礼として、院の同人22名が描き献上されました。

《富嶽茶園》の富士山は、懐深く静岡の地を見守っています。松岡映丘(1881-1938)は、伝統の山水画の構図に、同時代のモチーフを描きました。牧之原の茶園では、女性たちが茶摘み鋏で収穫し、大井川には鉄橋が架かっています。昭和3年(1928)の大礼に際し、静岡県茶業組合連合会議所から献

上されました。

一つひとつの独創的な表現の内に、深い敬愛の念と祝意が込められています。

本展は、近代の日本画家が富士山をはじめ自然の美しさや吉祥を描いた作品、静岡県から献上された絵画・工芸品、皇室とのゆかりを示す作品や写真、また刀剣などを展示します。秋の佳き日、祝賀の彩りに満ちた会場へ是非お越しください。

(学芸グループ長 河内えり子)

《景雲餘彩》より横山大観《霊峰》
大正11年(1922) 絹本着色 1面



白隠さんと書画、 坦庵さんと刀剣

佐野美術館収蔵品展
ちょっと深く楽しむ、古美術
—坦庵さんの刀剣から白隠さんの書画まで—
2025.11.16[日]—12.21[日]

駿豆(駿河伊豆)の人々から尊敬と親しみを込め「白隠さん」「坦庵さん」と呼ばれる二人の偉人をご存じですか？

白隠さんこと白隠慧鶴(1685-1768)は、「駿河には過ぎたるものが二つあり、富士のお山に原の白隠」と謳われた名僧です。禅の民衆教化に努め、迷い苦しむ人々を救い悟りの境地へと導く衆生済度を実践しました。禅の教えを分かりやすく伝えようと絵と賛(言葉)を組み合わせ、生涯一万点ともいわれる膨大な禅画を残しています。近年では宗教者としてはもとより、書画の表現者としての側面にも注目が集まっています。《常念観世音菩薩》は紙面を貫く豪放な「常」の字に目を奪われます。白隠さんの「常に観世音菩薩を念じるように」との教えがダイレクトに伝わってきますね。

坦庵さんこと江川太郎左衛門英龍(1801-1855)は、幕末期に伊豆の代官を務め、海防に尽力しました。当時、周辺アジア諸国は欧米列強の侵略をうけており、日本にも大砲を備えた黒船が来航しました。国防の為に早急な産業近代化が求められた時代、坦庵さんは西洋の近代製鉄の手法を取り入れ、鉄製大砲を鋳造するため葦山反射炉の建造を推し進めたことはよく知られます。ですが、当時一流の刀工・大慶直胤に弟子入りし、自ら鍛刀を行い、鉄を研究したことは

あまり知られていないかもしれません。実践を重視し、鋼の特性を熟知した刀工の知見を学び、反射炉建造に活かしたのでしょう。また、多忙な政務の合間にも詩や書画に遊び、多彩な作品を遺しています。幕府内で共に西欧諸国への対応を模索していた渡辺華山や、坦庵の砲術の師である高島秋帆の絵画などもあわせてご紹介し

ます。このように収蔵品の白隠さんや坦庵さんの書画をまとめて展示するのは、当館でも随分久しぶりです。このほかにも、展示リクエストの多い火車切、蜻蛉切(個人蔵)などの名刀もご紹介し

(学芸グループ主任 志田理子)



重要文化財 短刀 銘源英龍/天保〇二(年) 桐月
天保2年(1831)(部分) 江川文庫蔵



白隠慧鶴《常念観世音菩薩》 宝暦末・明和初(1761・1765)頃 佐野美術館蔵

太誓神槍 銘藤原正真作(号蜻蛉切) 室町時代(16世紀) 個人蔵

ミュージアムショップ

「皇室の名宝」(9/27-11/3)

絵葉書「富士」8枚入
500円



ブックマーカー
「二重橋」、「富士見橋」 各800円



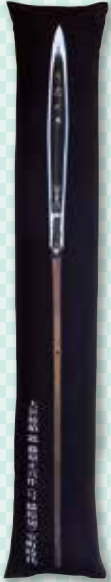
チケットホルダー
「富嶽茶園」
200円



※商品は全て
「皇居三の丸尚蔵館展
皇室の名宝
—静岡ゆかりの品々とともに」
開催期間中のみ販売。

「ちょっと深く楽しむ、古美術」
(11/16-12/21)

原寸大
刀剣
クッション
蜻蛉切
4,400円



佐野美術館
オリジナル
商品

撥水サコッシュ 火車切
(ネイビー・グレー) 各2,200円



さのびでまなぶ

注目のイベント

※諸事情により
変更や中止の場合があります。

記念講演会

「皇居三の丸尚蔵館収蔵品にみる
皇室と静岡とのゆかり」

皇室に伝わった名品や出品作の見どころ、静岡ゆかりの品々、皇室と静岡との関わりについてお話しいただきます。

ボンボニエール 丸菊形（三峰窯印）
昭和61年(1986) 皇居三の丸尚蔵館収蔵



日時：10/18(土) 14:00～15:30
講師：細川晋太郎（皇居三の丸尚蔵館
調査・保存課主任研究員）
会場：佐野美術館講堂
定員：50名 聴講料：500円
※要申込・先着順

国宝《唐獅子図屏風》（右隻）
高精細複製品の展示

「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の名宝―静岡ゆかりの品々とともに」の会期中(9/27-11/3)、1階ロビーに展示します。

写真撮影・SNS投稿ともOK！

展覧会の応援よろしく願います。



【高精細複製品】《唐獅子図屏風》（右隻）
製作：キヤノン株式会社（2024）

Canon 文化財活用センター

本複製品は、国立文化財機構とキヤノン株式会社による「高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究」の一環として制作されました。
原本：国宝《唐獅子図屏風》 右隻：狩野永徳 左隻：狩野常信
6曲1双 皇居三の丸尚蔵館収蔵

日本家屋で作品鑑賞

隆泉苑は昭和10年頃(1935)に完成した日本家屋で、平成9年(1997)に国の登録有形文化財となりました。普段は非公開の隆泉苑の床の間に、当館収蔵作品からみなさまにぜひご紹介したい作品を飾ってお待ちしております。作品鑑賞のあとは、甘いお菓子とお抹茶をご用意しております。お気軽にお越しください。

日時：11/22(土) 10:30～15:30
会場：隆泉苑(佐野美術館庭園内)
参加費：1,500円(呈茶券付)
※申込不要・家屋内は靴下を着用してください。

職人の技実演

日本刀に携わる
職人の技を間近
でご覧いただけ
ます。お気軽に
ご来場ください。



2024年度 実演の様子

日時：11/29(土) 10:00～16:00
11/30(日) 10:00～15:00
主催：佐野美術館、静岡県博物館協会
会場：隆泉苑(佐野美術館庭園内)
※申込不要・家屋内は靴下を着用してください。

その他のイベント

2025.10-12

皇室の名宝 会期中

- 10/4(土)、21(火)
英語で三島散策ツアー
- 10/11(土)、11/1(土)
学芸員のギャラリートーク

ちょっと深く楽しむ、古美術 会期中

- 12/13(土) 日本刀を持ってみよう

常設展示室

- 月2回程度
仏像解説ボランティアの
ギャラリートーク

富士・箱根・伊豆 皇室ゆかりの庭園

皇室の歴史と文化に触れよう

次の4園は、国土交通省「ガーデンツーリズム登録制度」に登録されています。
「皇室の名宝」開催にあわせて、ここに紹介します。展覧会とともに名園鑑賞をお楽しみください。

- 楽寿園（「小松宮彰仁親王殿下別邸」跡地・静岡県三島市）
- 沼津御用邸記念公園（「沼津御用邸」跡地・静岡県沼津市）
- 秩父宮記念公園（「秩父宮雍仁親王殿下別邸」跡地・静岡県御殿場市）
- 恩賜箱根公園（「旧箱根離宮」跡地・神奈川県箱根町）



【楽寿園】小浜池から楽寿館をのぞむ（豊水時）



【沼津御用邸記念公園】西附属邸外観



【秩父宮記念公園】



【恩賜箱根公園】夏の湖畔展望館

常設展示室

つきおかよしとし つきひやくし
月岡芳年「月百姿」

【前期】9.27(土)―11.3(月・祝) 【後期】11.16(日)―12.21(日)】



月百姿 金時山の月
明治23年(1890) 個人蔵

幕末から明治にかけて活躍した浮世絵師・月岡芳年(1839-1892)が晩年に手がけた錦絵の揃物「月百姿」より、前後期にテーマを分けてご紹介します。

主な展示作品

前期 日本の物語

- 月百姿 吼喊(こんかい) 明治19年(1886)
- 月百姿 孤家月 明治23年(1890)
- 月百姿 金時山の月 明治23年(1890)

後期 描かれた美人たち

- 月百姿 吉野山夜半月 伊賀局 明治19年(1886)
- つき百姿 しばみまの月 明治19年(1886)

作品はすべて個人蔵

INFORMATION

さんしんギャラリー 善

さんしんギャラリー善は、伊豆・県東部の創作活動を支援する目的で、三島信用金庫100周年記念事業の一環として開設しました。
佐野美術館が運営を委託され、1年間に4本の展覧会を開催します。

2025 秋季2 展覧会スケジュール

山本雄大(木彫)

11/7(金)―21(金)

さんしんギャラリー 善【展覧会開催時のみオープン】
11:00～16:30 木曜休館
〒411-0857 静岡県三島市芝本町12-3
TEL 055-991-0034 <https://www.sanshin-zen.jp/>

《一瞬》2014
素材：樟・桜・樺・スプルース・ウエンジ



開館時間：10:00～17:00(入館の受付は16:30まで)
休館日：木曜日(祝日の場合は開館)／
展示替期間(11/4-15)／
年末年始(2025.12/22-2026.1/8)

交通案内

JR三島駅南口より
・南へ1.3km左側
・東海バス(4番のりば：N46/47/81 大平車庫行き)で「佐野美術館」下車
・伊豆箱根鉄道に乘換え「三島田町駅」下車徒歩5分
東名沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ8km、三島玉川交差点を左折、二つ目信号を右折、次の角左折
東名裾野I.C.より
・南へ13km
新東名長泉沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ10km
※駐車場あり。駐車場混雑時には三島市営駐車場(有料)をご利用ください。

